



いわし雲は、なぜそうよばれるの

イワシのうろこなどに似ている

いわし雲とよばれる雲は、空の高い所にうかんでいて、雲の小さいかたまりが、魚のうろこのように、また、さざ波のように並んでいる美しい雲です。うろこ雲、さば雲、まだら雲ともよばれています。

このようによばれているのは、イワシやサバのうろこを連想させる、イワシの群れを連想させる、イワシやサバの豊漁を予言している、という説があります。

巻積雲のことをいう

雲ができる高さのちがいによって、上層の雲（巻雲、巻積雲、巻層雲）、中層の雲（高積雲、高層雲、乱層雲）、下層の雲（層積雲、層雲）の三つに分けられます。また、上層から下層まで広がる雲に、積雲、積乱雲があります。

同じ種類の雲でも、北極や南極の極地方、温帯地方、熱帯地方などの地域のちがいによって、高さが変わります。

いわし雲とよばれているのは、上層の雲の巻積雲です。中層の雲の高積雲も、うろこ雲やさば雲などともよばれています。

巻積雲は、温帯地方で5～13キロメートルの高さの所に、高積雲は、温帯地方で2～7キロメートルの高さの所に見られます。（監修・村山 貢司）

